

原発再稼働は市民の命・財産を脅かす。  
再稼働に反対の意思を



福井 節子 議員

## 誰でも参加できる開かれた説明会の開催を

**答** 団体からの要請もあり、県と協議します。

**問** 11月23日に行われた「大飯発電所に係る住民説明会」は、UPZ圏内の区長や防災リーダー、学校・施設関係者等、参加者が限定された。

**答** 30キロに壁はなく、万が一の時は市内全域が危険にさらされる。説明会では「机上の論だ。どんなに手立ても尽くしたと言われても福島の実験以降、信用できない」「区民に説明できない」と発言があった。誰でも参加できる説明会が必要だ。

**答** 政策部長  
県にも要請が出されており、今後の対応を国や県、関係機関と協議して参ります。

**問**

安定ヨウ素剤は、緊急時に医師の指示を受けて服用することは難しい。効果は服用後24時間で、追加の服用が必要な場合もある。各戸配布と、平常時に受診して内服の可否の判断が必要だ。また二重になっても、学校や施設に配備を。

**答**

政策部長  
万が一、原発事故が発生しても直ちに服用の指示は出されないことから、配布体制を整える時間的余裕はあると考えています。



大飯発電所に係る住民説明会

事前の受診は、現時点では必要ないと考えますが、今後は必要に応じ国・県と協議してまいります。

規制庁の資料でも、24時間前の摂取が一番効果があるとのこと。2回目の摂取が必要な場合は、他地域へ避難する時と考えます。そのため、市は一日分を備えています。

**問**

原発はコストが安く火力発電はコストが高いと説明するが、廃炉費用も被災者への補償も含めば天文学的数字



安定ヨウ素剤 内服ゼリー(左)と丸薬(右)

になると言われている。朽木の区長や高齢の方は「避難など出来ない。バスなど来られない」と台風の倒木や、積雪による通行止めの経験から諦めておられる。

滋賀県知事は「現状では再稼働を容認できる状況にない」と一貫して反対の態度を示されている。市長も反対の意思を。

**答** 市長

再稼働は、世界で最も厳しい規制基準を踏まえて規制委員会が判断し、国の責任でエネルギー政策を総合的に勘案した上で判断をされるものと考えます。

### その他の質問

● 介護の実態把握と現状での問題点

● 企業誘致も自然エネルギーも市民に役立つか、慎重に議論を